

## 第8章 戦略の実現に向けて

前章までに整理した基本戦略及びリーディングプロジェクトについて、具体的な展開スケジュールを整理します。また、戦略の実現に向けた基本的な考え方と具体の実現方策について整理します。


### 8-1 展開スケジュール

#### 1. 展開スケジュールの基本的考え方

展開スケジュールは、短期、中・長期の期間で検討します。

短期は、おおよそ伊万里中IC（仮称）が供用開始されるまでの期間と想定し、リーディングプロジェクトが実行され、本市が「わざわざ行きたくなる場」として認知されていることをゴールと設定します。

中長期は、リーディングプロジェクトに牽引され、他の施策等が動き出し、住んでいる人自らが安心して快適に暮らせるまち、市民はもちろんのこと、他都市住民からも選ばれるまちとなっていることをゴールと設定します。

	短期 (伊万里中IC 供用開始)	中・長期 (全線開通)
		
ゴール	<ul style="list-style-type: none"> <li>● わざわざ行きたくなる場として認知されている</li> <li>※全線開通までに、本市の知名度を上げる（目的地となる場をつくっておく）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 住んでいる人自らが安心して快適に暮らせるまち、市民はもちろんのこと、他都市住民からも選ばれるまちとなっている</li> </ul>

## 2. 展開スケジュール

以下に、戦略別展開スケジュールを示します。

将来像	戦略	プロジェクト	施策・事業等
<b>■競争力を備えた産業が育つまち 伊万里</b>			
<b>&lt;戦略1&gt; 基幹産業や地域産業の活性化</b>			
1) 「伊万里ブランド」の育成・強化			
●農産物直売所の戦略的展開検討			
●6次産業化支援			
●新商品開発及び新規販路開拓（新商品販路開拓支援事業）			
●伊万里ブランドコラボ企画の展開（例「伊万里牛の重箱御膳」 ：伊万里牛と伊万里焼の「伊万里ブランド」を、飲食店と窯元が協働開発・展開）			
2) ICT技術の活用による産業振興			
●生産管理分野へのICTの活用促進			
3) 新たな雇用創出に向けた取組み支援			
●PORT03316IMARIとの連携による起業支援（働く場の創出）			
●公共施設を活用したリノベーション事業 （伊万里市東駅ビル、旧婦人文化会館等：シェアオフィス、ゲストハウスなど）			
<b>&lt;戦略2&gt; ゲートウェイ機能の強化促進（伊万里港の国際物流拠点）</b>			
1) 伊万里港の機能充実及び交通ネットワークの強化			
●伊万里港の国際物流ターミナル整備促進			
●アクセス道路の整備による港湾利用の効率性、利便性の向上、 農畜産品の輸送時間短縮による新規販路開拓への展開			
2) 新規工業団地の整備による新たな雇用の場の創出			
●松浦地区における新規工業団地整備の推進			
●浦ノ崎地区における工業団地開発促進（県）			
●IC周辺における新規工業団地整備の検討			
3) 伊万里港の利活用促進			
●ターゲットを明確にした戦略的なポートセールスの展開			
●県との連携による利活用促進のための支援策の検討			
●クルーズ船寄港検討			
4) ロードサイド型賑わい機能の誘導			
●官民連携による賑わい機能の誘導検討			

※緑文字は、リーディングプロジェクト1、

赤文字は、リーディングプロジェクト2を示します。

リーディングプロジェクト		短期	中・長期	事業主体		
P 1	P 2	伊万里中IC 供用開始まで		行政	民間	市民
③		→		●	●	
③		→		●	●	
③		→		●	●	
③		→		●	●	
		→			●	
		→		●	●	
	⑥	→		●	●	●
		→		●		
		→		●	●	
		→		●		
		→		●		
		→		●		
		→		●		
		→		●		
⑤		→		●	●	
		→		●		
③		→		●	●	

※赤矢印は、リーディングプロジェクトに関する施策・事業を示します。

将来像	戦略	プロジェクト	施策・事業等
<b>■西九州北部の観光拠点 伊万里（わざわざ行きたくなるまち伊万里）</b>			
<b>&lt;戦略3&gt; ALL伊万里による観光戦略の展開</b>			
1) 観光戦略づくり			
●伊万里市観光戦略プランの見直し			
2) 地域資源のレベルアップ			
●伊万里ブランドによる福岡都市圏等でのイメージ戦略継続展開			
●伝統文化の継承及び新たなイベントの企画展開			
●大川内山の景色の維持（大川内山活用計画の推進）			
●大川内山でのエリアリノベーション（古民家再生）			
3) 異業種連携による取り組み展開			
●体験型観光（食+体験+泊）、（地元食材+地元出身料理人）+α （例：畑の中のレストラン、民泊、DINING OUT in MARの開催など）			
●異業種座談会（仮称）の定期開催			
●耕作放棄地を活用した体験型農業、週末農家の展開⇒定住促進			
4) 継続的なおもてなし体制づくり（ホスピタリティ強化）、広報戦略展開			
●観光案内所のリニューアル			
●ボランティアガイド、観光コンシェルジュの育成			
●伊万里未来プランナーの養成			
●観光インフラの整備拡充（サイン計画、WiFiスポット→直ぐにSNS発信）			
●SNSやwebを活用した広報戦略の展開			
●インバウンド対策（多言語サイン計画、免税店登録奨励事業など）			
<b>&lt;戦略4&gt; 広域連携による観光施策の展開</b>			
●観光客受け入れ体制の再構築 （観光関係団体の連携強化（日本版DMOなど新規団体等の創生））			
●肥前窯業圏の取り組み推進（活性化推進協議会との連携）、 広域観光周遊ルートの形成（平戸市、松浦市との連携）			
●九州オルレ「伊万里コース」の整備			
●観光客誘致活動の効果的展開（民間旅行会社等との連携）			
<b>&lt;戦略5&gt; 観光拠点（玄関口）としての受入れ・情報発信の強化</b>			
●産地直売所、情報発信・収集機能などの整備検討 （観光案内所の新規整備、市所蔵肥前陶磁器の展示など）			
●循環バスなど、公共交通事業者との連携			
●観光案内板の新規設置（伊万里東府招IC、西九州自動車道沿線）			

※緑文字は、リーディングプロジェクト1、

赤文字は、リーディングプロジェクト2を示します。

リーディングプロジェクト		短期	中・長期	事業主体		
P 1	P 2	伊万里中IC 供用開始まで		行政	民間	市民
①				●		
				●	●	●
④				●	●	●
				●	●	●
	⑥			●	●	●
				●	●	
				●	●	
				●	●	
④				●	●	
⑥				●	●	●
⑥	②			●	●	●
⑧	⑦			●	●	●
⑧	⑦			●	●	●
	⑦			●	●	
①	⑦			●	●	
⑤	⑦			●	●	
④				●	●	●
⑤				●	●	
②				●	●	
⑦				●	●	
⑤				●	●	

※赤矢印は、リーディングプロジェクトに関する施策・事業を示します。

将来像	戦略	プロジェクト	施策・事業等
<b>■選ばれるまち 伊万里</b>			
<b>&lt;戦略6&gt; 計画的なまちづくりの推進</b>			
<b>1) 将来を見据えた都市計画の検討</b>			
●伊万里市都市計画マスタープランの策定			
●公共施設等総合管理計画に基づく計画的な維持管理の実施 及び施設再配置計画の策定			
<b>2) 定住促進策、子育て支援策の検討</b>			
●移住体験ツアー・空き家ツアー（伊万里の生活体験・空き家の内覧など）			
●定住促進施策（補助金など）の拡充検討			
● <b>子ども伊万里塾の開催</b>			
●伊万里市インターンシップ実習（就業体験）			
<b>&lt;戦略7&gt; 魅力的で訪れたいくなる中心市街地の再生</b>			
● <b>中心市街地再生に向けたまちづくり構想（将来像）策定</b>			
● <b>まちなかイベントの開催（市街地・商店街活性化イベント開催支援事業）</b>			
● <b>伊万里川河川敷地空間を活用した賑わいのあるまちづくり（ミズベリング）</b>			
● <b>空き家・空き店舗対策（リノベーションまちづくり（番館構想）、データベース構築など、官民協働による取り組み検討）</b>			
● <b>ワンストップ行政窓口の設置</b>			
<b>&lt;戦略8&gt; 中山間地域等の活力の維持と向上を図る定住環境の形成</b>			
●「小さな拠点」の形成（拠点形成、ネットワーク（交通）の確保）			
●伝統文化の継承（まつり）⇄地域コミュニティの維持			
● <b>未利用農地等を活用した観光農園（クラインガルテン等）の推進</b>			
● <b>未利用公共施設の活用検討（宿泊施設、ドローン学校など）</b>			

※**緑文字**は、リーディングプロジェクト1、

**赤文字**は、リーディングプロジェクト2を示します。

リーディングプロジェクト		短期	中・長期	事業主体		
P 1	P 2	伊万里中IC 供用開始まで		行政	民間	市民
				●		●
				●	●	
				●	●	
				●		
⑥	②			●	●	●
				●	●	
	①			●	●	●
	②			●	●	●
	③			●	●	●
	⑤			●	●	
	④			●		
				●	●	●
				●		●
④				●	●	●
④				●	●	

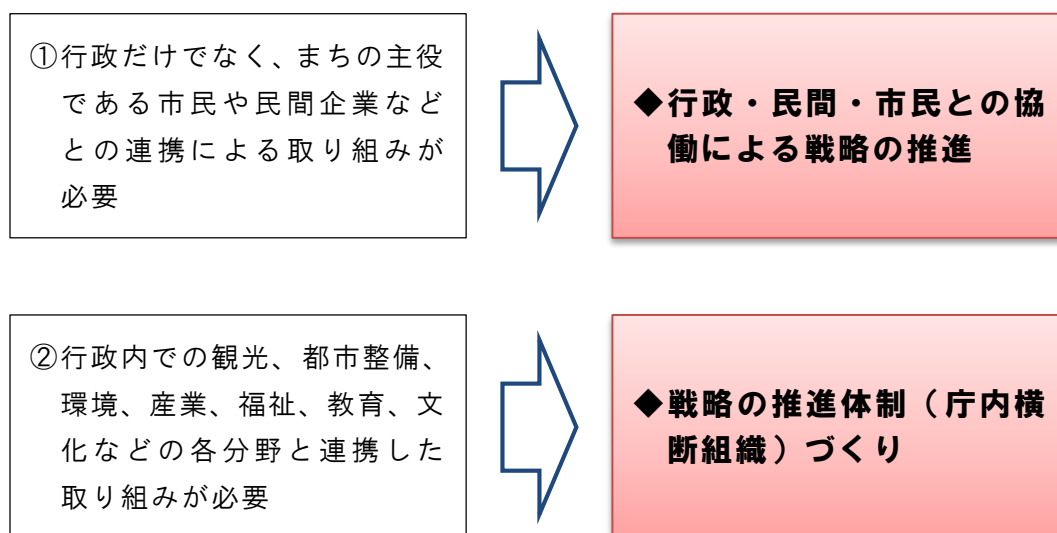
※赤矢印は、リーディングプロジェクトに関する施策・事業を示します。

## 8-2 戦略の実現に向けた基本的な考え方

前章までに整理した基本戦略やリーディングプロジェクトの遂行による将来像の実現のためには、何よりも行政だけでなく、まちの主役となる市民や民間企業等との協働による取り組みが重要です。

また、IC開設を契機とした戦略の推進には、観光や都市整備に関する分野だけでなく、環境、産業、福祉、教育、文化など、様々な分野と関連した取り組みが重要です。

そのようなことから、戦略の実現に向けては、様々な立場や分野との連携・協働により取り組むことが重要であり、以下の点に注意しながら推進します。





### 8-3 戦略の実現に向けて

#### 1. 行政・民間・市民との協働による戦略の推進

本戦略の実現のためには、行政はもとより市民・企業等それぞれが、適切な役割分担のもとに協力しあう「協働」による取り組みを進めることが重要です。

リーディングプロジェクトを遂行する際には、計画段階から市民や各種団体等と一緒に取り組み、維持・管理段階における市民等の積極的な参画を促進します。

#### 2. 戦略の推進体制（庁内横断組織）づくり

今後、本戦略を進めていくためには、庁内においても部署間を超えた連携を図りながら実現化に向けて取り組んでいく体制づくりが必要です。

このため、基本戦略やリーディングプロジェクトを進める際には、都市政策や観光関係部署だけでなく、環境、産業、福祉、教育、文化など、様々な分野の関連部署との横断的な取り組み組織（(仮称)「伊万里市都市形成戦略推進プロジェクトチーム」）を設置します。

当プロジェクトチームが、リーディングプロジェクト全体の協働・連携・各種調整機能を担い、取り組みに対する協議や情報交換、必要に応じた本都市形成戦略の修正・変更を行います。

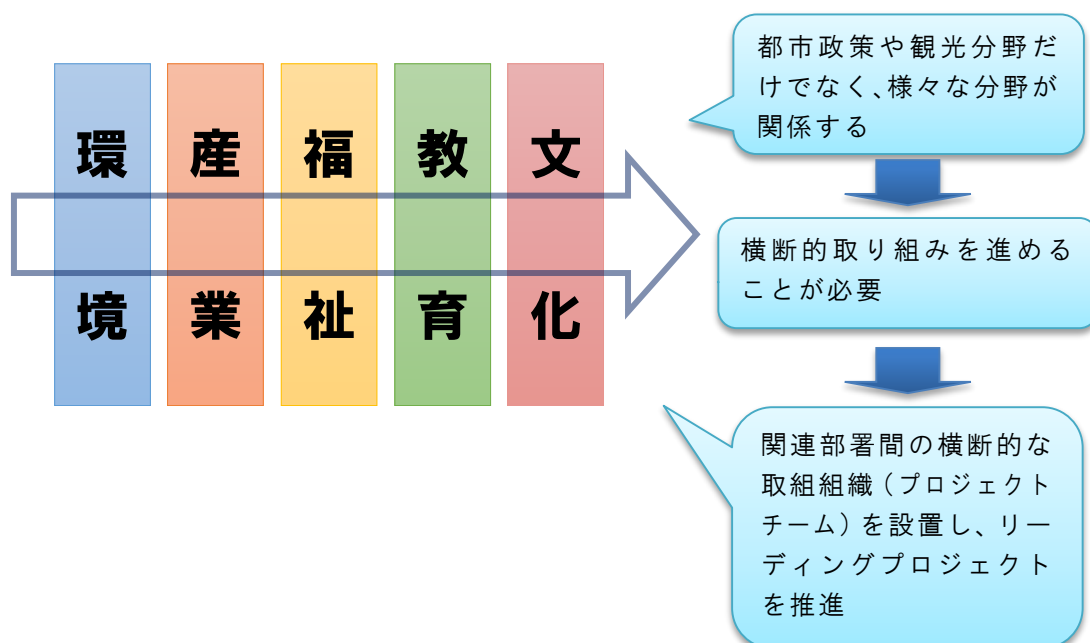


図 実現化に向けた横断的組織のイメージ